

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	前期：1 後期：1
レポート提出回数	前期：3 後期：3		最低出席回数	前期：4 後期：4	
使用教科書	改訂 科学と人間生活 (東京書籍)		副教材等	科学と人間生活 学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>(1)科学的な見方・考え方の養育 日常生活や社会との関わりの中で、事物・現象を科学的に捉える視点を養う。</p> <p>(2)観察・実験を通じた探究能力の育成 実際に手を動かして観察や実験を行い、科学的に解決する力（仮説・検証・考察）を身につける。</p> <p>(3)科学の役割と恩恵への理解 科学技術が人間生活をいかに豊かにし、便利にしてきたかという歴史や役割を理解する。</p> <p>(4)主体的な関わりと意志決定 科学的な根拠に基づいて、環境保全や資源の利用など、現代社会の諸課題に対して主体的に判断・行動する態度を育む。</p>					
期	月	内容		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安
前	4	さまざまな微生物		第1期 (5/29) 第2期 (6/26) 第3期 (7/31)	1～3回
	5	ヒトの生命現象（視覚、血糖、免疫）			3～5回
	6	ヒトの生命現象（遺伝）、物質の科学（衣料）			6・10・11回
	7	物質の科学（リサイクル、金属）			7～8回
	8	物質の科学（プラスチック）			9回
	9	前期定試			12～13回
後	9	光の性質とその利用		第4期 (10/16) 第5期 (11/13) 第6期 (12/11)	12～13回
	10	熱の性質とその利用			14～16回
	11	自然景観と自然災害			19～20回
	12	自然景観と自然災害 太陽と地球			17～18回
	1	後期定試			
2					

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	前期：2
レポート提出回数	前期：6		最低出席回数	前期：8	
使用教科書	改訂 新編 物理基礎 (東京書籍)		副教材等	新編物理基礎 学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>日常生活を支える科学技術には物理学の成果や応用によってもたらされたことを学ぶことで自然現象への関心を高め、科学的な探究能力を養う。交通、街づくり、医療、福祉、建築、防災など日常生活との関わりなどを理解し、自然との共生に役立てる方法を考察する能力を育成する。</p>					
期	月	内容		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安
前	4	1 編 物体の運動とエネルギー 1 章 直線運動の世界		第1期 (5/29) 第2期 (6/26) 第3期 (7/31)	1～8回
	5	2 章 力と運動の法則 3 章 力学的エネルギー			9～28回
	6	2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 1 章 熱 2 章 波			17～22回
	7	3 章 電気 4 章 エネルギーとその利用			23～33回
	8	終章 物理学が拓く世界			34～40回
後	9	前期定試			
	10				
	11				
	12				
	1				
2					

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	前期：2
レポート提出回数	前期：6		最低出席回数	前期：8	
使用教科書	改訂 新編 生物基礎 (東京書籍)		副教材等	新編生物基礎 学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、観察・実験を通して科学的な探究能力を養う。生物の共通性、多様性、環境との関わりなどの基礎的概念を理解し、科学的に考察する能力を育成する。</p>					
期	月	内容	レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安	
前	4	1編 生物の特徴	第1期 (5/29) 第2期 (6/26) 第3期 (7/31)	1～8回	
	5	2編 遺伝子とそのはたらき		9～28回	
	6	3編 ヒトの体の調節（神経、ホルモン）		17～22回	
	7	3編 ヒトの体の調節（免疫） 4編 生物の多様性と生態系（植生と遷移）		23～33回	
	8	4編 生物の多様性と生態系（生態系と生物の多様性）		34～40回	
	9	前期定試			
後	10				
	11				
	12				
	1				
	2				

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	後期：2
レポート提出回数	後期：6		最低出席回数	後期：8	
使用教科書	改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)		副教材等	化学基礎 学習書 (NHK出版)	
科目の目標					
<p>この世界が物質からできていることを理解し、物質に対する関心を高め、観察・実験を通して化学的な見方・考え方を養う。物質の構造と変化などを学びながら、私たちが自然界にあるものから人工的なものを作り出したり、エネルギーを取り出していることを理解し、環境への関わりと自然破壊等の問題への理解を深め、探究していく態度を養う。</p>					
期	月	内容		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安
前	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素			
後	10	2章 原子の構造と元素の周期表 3章 化学結合		第4期 (10/16)	11～16回
	11	2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 2章 酸と塩基		第5期 (11/13)	17～31回
	12	3章 酸化還元反応 終章 化学が拓く世界		第6期 (12/11)	32～40回
	1	後期定試			
	2				

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	後期：2	
レポート提出回数	後期：6		最低出席回数	後期：8		
使用教科書	改訂 地学基礎 (東京書籍)		副教材等	地学基礎 学習書 (NHK出版)		
科目の目標						
<p>地球や宇宙の現象に対する関心を高め、観察・実験を通して地学的な見方・考え方を養う。地球の構造、地質、環境変化などを学び、自然環境の恩恵と災害（防災・減災）の理解を深め、科学的な探究能力と態度を養う。</p>						
期	月	内容		レポート 合格締切日	放送視聴 視聴回目安	
前	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
後	9	1編 私たちの大地		第4期 (10/16)	1～10回	
	10	2編 私たちの空と海 3編 私たちの宇宙の誕生			11～16回	
	11	3編 私たちの宇宙の誕生 4編 私たちの地球の歴史			第5期 (11/13)	17～31回
	12	4編 私たちの地球の歴史 5編 地球に生きる私たち			第6期 (12/11)	32～40回
	1	後期定試				
	2					

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	理科	科目	化学	単位数	前期：2 後期：2
レポート提出回数	前期：6 後期：6		最低出席回数	前期：8 後期：8	
使用教科書	化学（理論編・物質編） （東京書籍）		副教材等		
科目の目標					
<p>1. 知識・理解 物質の仕組みと関わり：身の回りにあるさまざまな物質の構造やはたらきを理解する。</p> <p>2. 思考・判断・表現 科学的探究能力：多くの研究の成果を学ぶことで問題を見出し、観察・実験を行い、結果を分析・解釈する能力。 論理的思考：実験データや検証結果から仮説を立て、考察するプロセスを重視する。</p> <p>3. 主体的な態度 探究心と生命尊重：物質と私たちの生活との関わりから、生命と環境の重要性を追求する態度を養う。</p>					
期	月	内容	レポート 合格締切日		
前	4	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質	第1期 (5/29)		
	5	3章 溶液の性質 4章 固体の構造			
	6	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 2章 電池と電気分解	第2期 (6/26)		
	7	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 2章 化学平衡	第3期 (7/31)		
	8	3章 水溶液中の化学平衡			
		9	前期定試		
後	9	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物	第4期 (10/16)		
	10	3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認			
	11	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物	第5期 (11/13)		
	12	6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割	第6期 (12/11)		
	1	後期定試			
	2				

*面接指導日、定試、評価方法については別に記載。

教科	理科	科目	生物	単位数	前期：2 後期：2
レポート提出回数		前期：6 後期：6		最低出席回数	前期：8 後期：8
使用教科書	生物 (東京書籍)		副教材等		
科目の目標					
<p>1. 知識・理解 生物の仕組みと関連：生物の共通性、多様性、進化、エネルギー利用、生態系など、生物学の基本的な概念を理解する。</p> <p>2. 思考・判断・表現 科学的探究能力：自然の事象・現象から問題を見出し、見通しを持って観察・実験を行い、結果を分析・解釈する能力。 論理的思考：実験データから仮説を立て、考察するプロセスを重視する。</p> <p>3. 主体的な態度 探究心と生命尊重：自然に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境と調和していこうとする態度を養う。</p>					
期	月	内容		レポート 合格締切日	
前	4	第1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ		第1期 (5/29)	
	5	3章 生物の系統と進化 第2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質			
	6	2章 代謝とエネルギー 第3編 遺伝現象の発現と発生 1章 遺伝現象とその発現		第2期 (6/26)	
	7	2章 発生と遺伝子発現		第3期 (7/31)	
	8	2章 発生と遺伝子発現			
	9	前期定試			
後	10	第3編 遺伝現象の発現と発生 2章 発生と遺伝子発現 3章 遺伝子を扱う技術		第4期 (10/16)	
	11	第4編 生物の環境応答 1～3章		第5期 (11/13)	
	12	第5編 生態と環境 1～3章		第6期 (12/11)	
	1	後期定試			
	2				

※面接指導日、定試、評価方法については別に記載。